

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272300526
法人名	社会福祉法人緑風会
事業所名	太陽の家
所在地 (電話番号)	〒036-0141 青森県平川市沖館向野91-1 (電話) 0172-43-0080

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階
訪問調査日	平成 19年 10月 28日
評価確定日	平成 19年 12月 18日

【情報提供票より】(平成 19年 10月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 12年 10月 16日
ユニット数	1 ユニット
職員数	11 人
利用定員数計	9 人
常勤	10人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1階建ての 階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	7,500 円	その他の経費(月額)	6,000 ~ 冬季7,500 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	4名	要介護2	2名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 83.3 歳	最低	71 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	阿部医院・下田クリニック
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>事業所名の文字通り陽射しがふりそそぎ、緑に囲まれた環境の中にあり、ゆったりと時間が過ぎせるような雰囲気十分に感じられる。 法人として歴史があり特養、デイサービスとの交流も深く、入居者は日々様々なイベント等に参加され、活気ある毎日を過ごされている。また地域との交流も多く、小学生のボランティアの方と一緒に草取りを月に1回行ったり、近所の宵宮にも出かけたり地域の住民として共に生活を共有していることが窺える。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>【理念】は法人の理念として共有していたが、今回事業所独自のものとして新たに作成し、日々理念の実践に向けて行動している。 また、前回金銭管理の透明性の確保の点について助言があったが、家族への情報の開示等含め適切に改善されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は外部評価及び自己評価の意義を理解され、それらに対する意識も高い。評価結果については家族にも報告し、現状のサービスを振り返り常にサービスの質の向上を目指している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>定期的に運営推進会議を開催し、地域の方と意見交換を行っている。 ボランティアの受け入れ(小学生と一緒に草取りをしている)や認知症の勉強会等も行い、日常生活における地域交流の視点から、努力している姿勢が窺える。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>事業所内の苦情受付は明示され、且つ家族面会時も意識的に働きかけているが、家族会の開催やアンケートは行われていない。家族等が意見、不満、苦情を表出できる取り組みを期待したい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>広報誌や法人の行事を通じて働きかけをし、地域の行事等に積極的に参加され、地域との交流がある。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し、関係性の継続、地域生活の継続を支えるためのサービスの役割を反映させたものとなっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングや申し送り等で話し合い、日々のサービス提供場面に反映させている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	広報誌や法人の行事を通じて働きかけをし、地域の行事等に積極的に参加したり、近所の小学校のボランティアの活動に来てくれるなど地域との交流がある。運営推進会議を通して地域の方々と意見交換を行ったり、認知症の理解等について取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価について全員で取り組み、外部評価の結果について改善策の検討を行い、サービスの質の向上に努めている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議を開催し、積極的に参加を促す取り組みを行ない、意見交換を行う等サービスの質の向上につなげている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議を通じて事業所の取り組みを伝え、意見交換を行う等、行政との連携を図りサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員会議や研修等により職員が周知しており、利用者が希望する場合は支援できる体制にある。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ミーティングや勉強会等で資料をもとに、高齢者虐待等防止法に向けた取り組みを行なっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用者や家族に十分な説明を行い、同意を得ている。退居の際には利用者や家族に退居先の情報提供を行う等の支援を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月発行している園便りや3ヵ月に1回の季刊誌を送付し、利用者の暮らしぶりや健康状態や出納に関する領収書等を報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所内の苦情受付窓口を明示し、又、面会時には要望や意見を気兼ねなく話せる雰囲気作りに配慮し、出された意見は申し送り等で話し合い、日々のケアに活かせるように取り組みをしている。</p>		<p>意識的に家族面会時は働きかけ、意見が表出できるようにしているが、更に家族会やアンケート等を活用した取り組みに期待したい。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は法人として最小限に(年1人くらい)配慮している。新しい職員を配置する場合は利用者には十分説明をして関係作りや詳細な引継ぎを行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修の機会を設け、受講した内容は研修報告を行ない、閲覧できるようにしている。話し合いにより意見やアドバイスを受けている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム協会の会議等を通して交流し、意見交換等を行い、サービスの質の向上に活かしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族に十分な説明や話し合い等を行い安心してサービスを利用できるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、利用者に教えてもらったり、相談したりされたり、お互いに協働しながら生活できるように場面作りをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は利用者の思いや希望を把握するよう努めている。困難な場合は家族等から情報を得るようにしている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の要望や意見を取り入れた介護計画を作成しているがアセスメントの記録が整理されていない。</p>		<p>本人や家族の思いが反映される介護計画ではあるが、アセスメントの必要性を検討され職員全員で協議し記録を作成し、今後の介護計画に活かすことを期待したい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>現状に合わせ、必要時には随時介護計画の見直しを行っている。モニタリングもきちんと記録されており、次回のケアプランに反映されている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>病院受診や買い物等定型的なサービス提供が中心であり、本人の意向や家族の要望等、事業所独自のニーズが活かされていない。</p>		<p>本人や家族の状況や意向、その時々々の状況や要望に向き合い、事業所独自に暮らしの継続に必要な支援の提供を期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。受診結果について家族に報告している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の重度化や終末期の対応について方針を決め、本人や家族、医療機関等と話し合い、意思統一を図っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は個人情報保護法について理解し、利用者への声かけや対応について確認や改善に向けた取り組みを行なっている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースやその日の体調等に配慮し柔軟に行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の状況や意見等に応じて、調理の準備や後片付け等を促し、一緒に行なっている。職員も利用者と一緒に席に着き食事を摂っている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日以外でも利用者の意向を取り入れている。利用者の習慣等に配慮しながら適切な支援を行なっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりに合った役割や楽しみごとを促す働きかけをしている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望を取り入れ、その日の状態に合わせた支援を行うよう努力はしているが、月に2・3日であったり、食材をとりに行く程度のものであり、一人ひとりの希望に沿うものとしては、十分とはいえない。		一人ひとりの希望に沿えるよう外出支援の取り組みを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が理解し、身体拘束は行わないという姿勢で日々のケアを行っている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に施錠していない。外出傾向を察知した時には、職員が付き添う等の支援を行っている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月、避難訓練を行っている。災害時の対応について、住民や消防署等から協力してもらえよう働きかけをしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は管理栄養士が作成している。摂取量が確保されない場合は栄養士、看護師等から、助言、指示を受けている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症防止のマニュアルが作成され、全職員が学習している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>日射しや照明等、室内の明るさは適当であり、季節を感じる装飾等、工夫されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>写真や使い慣れた生活用品が持ち込まれており、利用者一人ひとりに合った居室作りを行っている。</p>		

 は、重点項目。